

# 【保存版】工場求人 応募前チェックリスト | どのサイトでも使える汎用版

工場・製造業の求人は、サイトが違っていても載っている項目はだいたい同じです。

「月収例○○万円」「寮費無料」「入社特典最大○○万円」「未経験OK」

この見出しの“読み方”さえ身につければ、どの求人サイトでも失敗を避けられます。

このチェックリストは、ほぼすべての工場求人サイトに共通する記載項目に沿って作っています。気になる求人を見つけたら、上から順にチェックしていけば、見落としがなくなります。最後にコピー用の短縮版もあります。

## ✓ 使い方

1. 求人ページを開く
2. このリストを上から順に見ながら、求人票の該当箇所を確認
3. 「？」が残った項目は、面接・電話・LINEで必ず質問する
4. 内定後は「労働条件通知書(書面)」と求人記載を突き合わせる

## ① 雇用形態:「誰に雇われるのか」を最初に確認

工場求人でも最も誤解が多いのがここです。

「正社員」「大手メーカーで安定」と書かれていても、**雇用主がメーカーとは限りません。**

- [ ] 雇用形態は「正社員／契約社員(期間工)／派遣／アルバイト」のどれか
- [ ] その「正社員」は“どこの会社”の正社員か(求人掲載企業＝派遣会社の場合、メーカー直接雇用ではない)
- [ ] 有期雇用(契約社員・派遣)の場合、契約期間と更新上限は何か
- [ ] メーカー直接雇用・正社員登用の制度はあるか／実績はあるか

💡 見分け方: ページ下部の「掲載企業情報」「運営会社」を見る。そこが派遣・請負会社なら、雇う側はその会社です。

## ② 給与:「月収例」を必ず分解する。

「月収例〇〇万円」は、残業・夜勤・休日出勤をすべて含んだ“**ほぼ最大値**”であることが大半です。

- [ ] 月収例の「内訳」が書いてあるか確認(時給×時間+残業+深夜+休出+手当)
- [ ] 残業・休出ゼロの「素の月収」を自分で計算した(時給 × 所定労働時間)
- [ ] 通勤手当が月収例に含まれていないか(含まれていれば実質手取りはそのぶん減る)
- [ ] 時給に幅がある場合(例:1,700~2,125円)、高い方が割増時の時給だと理解した
- [ ] 「月給」か「月収」か「手取り」かを区別した(月給=毎月固定、月収=変動込み)

💡 ポイント:高月収の正体は基本給ではなく手当の積み上げであることが多い。これは「働き次第で収入を増やせる」メリットでもある反面、残業が減る月は収入も下がることを意味します。

## ③ 固定残業代(みなし残業):3点セットで確認

固定残業代を含む場合、法律(若者雇用促進法の指針)で次の3点の明示が義務付けられています。

- [ ] ① 固定残業代の金額が書いてあるか(例:固定残業代5万円)
- [ ] ② 何時間分かが書いてあるか(例:30時間相当)
- [ ] ③ その時間を超えた分は別途追加支給される旨が書いてあるか
- [ ] 「月給25万円(固定残業代含む)」のように内訳が不明な書き方になっていないか

💡 注意:基本給の内訳が分からない求人は、見かけの月給を高く見せている可能性があります。3点が揃っていない求人は、面接で必ず内訳を確認しましょう。

## ④ 入社特典・各種手当:「最大」と「※規定あり」を疑う

「入社特典最大〇〇万円」は、複数の手当を合算した最大値で、現金で一括して受け取れる額とは限りません。

- [ ] 「最大〇〇万円」の内訳を一つずつ確認した(祝い金/満了金・慰労金/定着奨励金/寮費補助など)
- [ ] それぞれ「いつ・いくら・どんな条件で」支給されるか(「※規定あり」の中身)
- [ ] 寮費補助が特典額に含まれていないか(現金ではなく家賃補助のことが多い)
- [ ] 入社祝い金・満了金の支給条件を数字で確認した(「〇ヶ月在籍」「欠勤〇日以内」など)
- [ ] 祝い金の額が応募時期で変動しないか(繁忙期は増額、閑散期は減額の傾向)

💡 期間工で特に重要:満了金(慰労金)は「1か月に1回でも欠勤すると満額もらえない」タイプが一般的です。満額の条件を必ず押さえましょう。

## ⑤ 寮・住まい:「寮費無料」の上限と中身

- [ ] 「寮費無料」に上限額(例:○万円まで)がついていないか
- [ ] 光熱費・水道代は会社負担か自己負担か
- [ ] 寮のタイプ(個室/相部屋)・立地・通勤時間が確定しているか(配属後に決まる場合あり)
- [ ] 家具・家電付きの範囲(冷蔵庫・洗濯機・エアコン・寝具 など)
- [ ] 赴任・引越し費用の負担範囲(全額か一部か、上限額)
- [ ] 寮のルール(門限・外泊届・来客可否・共有部の当番 など)

💡 メリット面:寮費・光熱費が無料～格安だと固定費が大きく下がり、貯金スピードは段違いです。「短期で元手を作りたい人」には地方の寮付き求人はむしろ最適。

---

## ⑥ 勤務形態・労働時間:交替勤務と残業の実態

- [ ] 日勤専属か/2交替か/3交替か(「日勤専属」と書いていなければ交替勤務を疑う)
- [ ] 交替勤務の場合、シフトの切替サイクル(週単位など)と生活リズムへの影響
- [ ] 「月平均時間外労働○時間」の記載を確認した
- [ ] 月収例の残業時間と、月平均残業時間が食い違っていないか
- [ ] 深夜・休日出勤の頻度(任意か、ほぼ前提か)

💡 知っておくと安心:交替勤務は「最初の2週間ほどで慣れる人が多い」とされ、深夜労働には法律で25%以上の割増賃金がつきます(稼ぎたい人にはメリット)。一方で3交替は2交替より体力的負担が大きいとされます。自分の体力・生活と相談を。

---

## ⑦ 休日:「週休2日制」と「年間休日」を正しく読む

ここは1文字違いで休日数が変わる重要ポイントです。

- [ ] 「完全週休2日制」か「週休2日制」かを確認した
  - 完全週休2日制＝毎週必ず2日休み
  - 週休2日制＝月1回以上、週2日休みの週がある(他の週は休み1日でも合法)
- [ ] 「完全週休2日制(土・日・祝)」は祝日週は土日どちらか+祝日になる点を理解した
- [ ] 年間休日の総数を確認した(105日＝最低ライン近い/120日以上＝多い部類)
- [ ] 「土曜出勤を依頼することがある」「工場カレンダーによる」などの注記を見落としていないか
- [ ] 年間休日に有給は含まれないことを理解した

💡 平日休みの利点:土日に休めなくても、レジャー・役所・病院が空いている平日に動けるメリットがあります。

---

## ⑧ 仕事内容:「未経験OK」「軽作業」の中身を見る

- [ ] 具体的な作業内容が書いてあるか(組立/検査/加工/梱包/マシンオペレーターなど)
- [ ] 配属先・ラインが応募時点で確定しているか(「配属は選べない」場合あり)
- [ ] 「軽作業」の中身(立ち作業か座り作業か、扱う物の重さ)
- [ ] 「未経験OK」の場合、研修制度の有無と期間
- [ ] 作業環境(空調の有無、クリーンルーム、立ち/座り、屋外/屋内)

💡 メリット面:単純作業中心の現場が多く、未経験でも仕事を覚えれば回せます。資格(フォークリフト・玉掛け・危険物など)を取ると手当がつき、転職時の強みにもなります。

---

## ⑨ 福利厚生:条件付きの制度に注意

- [ ] 社会保険完備(健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険)か
  - [ ] 有給・退職金などの付与条件(「〇ヶ月勤務後」「在籍〇年以上」など)
  - [ ] 試用期間の有無と、試用期間中の労働条件(時給が下がらないか)
  - [ ] 賞与・昇給の有無と条件(業績次第で変動する点に注意)
- 

## ⑩ 応募プロセス:手軽さの裏で“詳細が後回し”になりやすい

- [ ] 「即面接可」「履歴書ナシ」「スピード内定」でも条件確認を省かない
- [ ] 求人票に「詳細は面接時に」「詳細は現地管理者へ」が多い場合、重要事項は面接で必ず質問する
- [ ] 内定後の労働条件通知書(書面)と求人記載を突き合わせる
- [ ] 口頭の説明と書面が一致しているか確認した

💡 法律上のポイント:労働条件(給与・残業・休日・契約期間など)は書面で明示される必要があります。口約束だけで入社しないこと。

---

## ⑪ 求人票の外で調べる:これで精度が一段上がる

- [ ] 配属先メーカー名・工場名で口コミ検索(「工場名 きつい」「企業名 期間工 評判」など)
- [ ] 求人を出している会社(派遣元)自体の評判を口コミサイトで確認
- [ ] 可能なら工場見学・職場見学を申し込む
- [ ] 自分の目的を1つに絞る(短期で貯金/長く安定/土日休み重視/未経験から手に職)

💡 目的が定まると、同じ求人でも「自分にとっての合否」が一瞬で判断できるようになります。

---

## コピペ用:5秒チェック(最終確認)

### 【雇用】

- 「正社員」=どこの会社の正社員か確認した
- 有期契約なら期間・更新上限を確認した

### 【お金】

- 月収例の“素の月収”(残業・休出ゼロ)を計算した
- 月収例に通勤手当が含まれていないか確認した
- 固定残業代は金額・時間・超過分の扱いが明示されているか
- 「入社特典最大○○万円」の内訳と支給条件を確認した
- 入社祝い金・満了金の満額条件(欠勤NG等)を確認した

### 【住まい】

- 寮費無料の上限額・光熱費・配属後決定の点を確認した
- 赴任/引越し費用の負担範囲を確認した

### 【働き方】

- 日勤専属か交替勤務か/月平均残業時間を確認した
- 「完全週休2日制」か「週休2日制」かを確認した
- 年間休日の総数と土曜出勤・工場カレンダーの注記を確認した

### 【仕事内容】

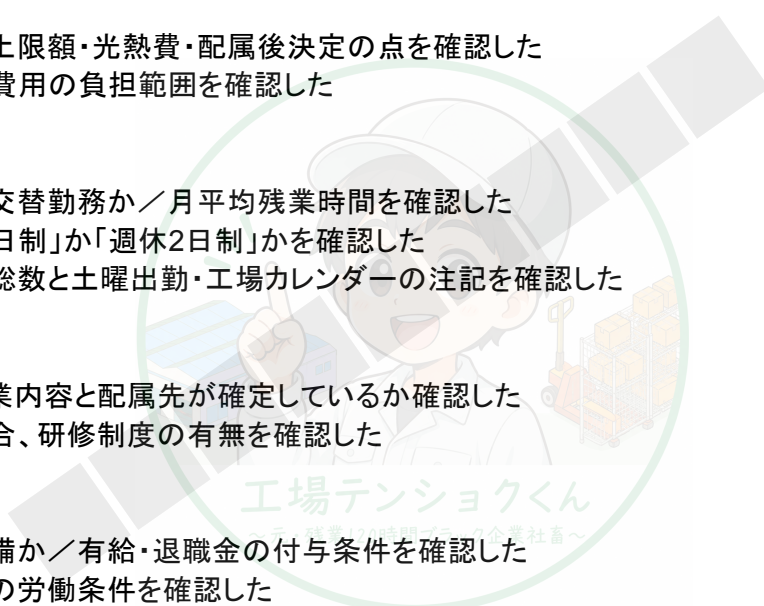
- 具体的な作業内容と配属先が確定しているか確認した
- 未経験の場合、研修制度の有無を確認した

### 【制度】

- 社会保険完備か/有給・退職金の付与条件を確認した
- 試用期間中の労働条件を確認した

### 【最終】

- 重要事項は面接で必ず質問すると決めた
- 内定後に労働条件通知書と求人記載を突き合わせる
- 配属先メーカーと派遣元の口コミを検索した
- 自分の目的(貯金/安定/休日/手に職)を1つに絞った



## この“読み方”が効く理由

工場求人の見出しは、「良い条件の最大値」を切り取って表示するのが基本です。

「月収例＝フル稼働時」「入社特典＝合算の最大」「寮費無料＝上限あり」

これは多くのサイトに共通する“クセ”であって、必ずしも誇大や不正ではありません。

自分で数字を分解し、「※規定あり」の中身を確認できれば、工場求人は条件の良い選択肢になり得ます。

マイナスに見える項目（交替勤務・地方の寮・有期雇用）も、「短期で貯める」「手に職をつける」といった目的が明確な人にとってはむしろ強みに変わります。

※本チェックリストは一般的な工場・製造業求人の記載項目に基づく汎用版です。

金額・条件は求人ごと・時期ごとに変わるため、応募前に必ず最新の募集要項と労働条件通知書をご確認ください。

